

～宇陀市誕生 20 周年～

これからの 20 年を創るスタートアップ予算

令和 7 年度一般会計予算は、225 億 9,895 万円

問 財政課（☎ 82・1305 / IP ☎ 88・9071）

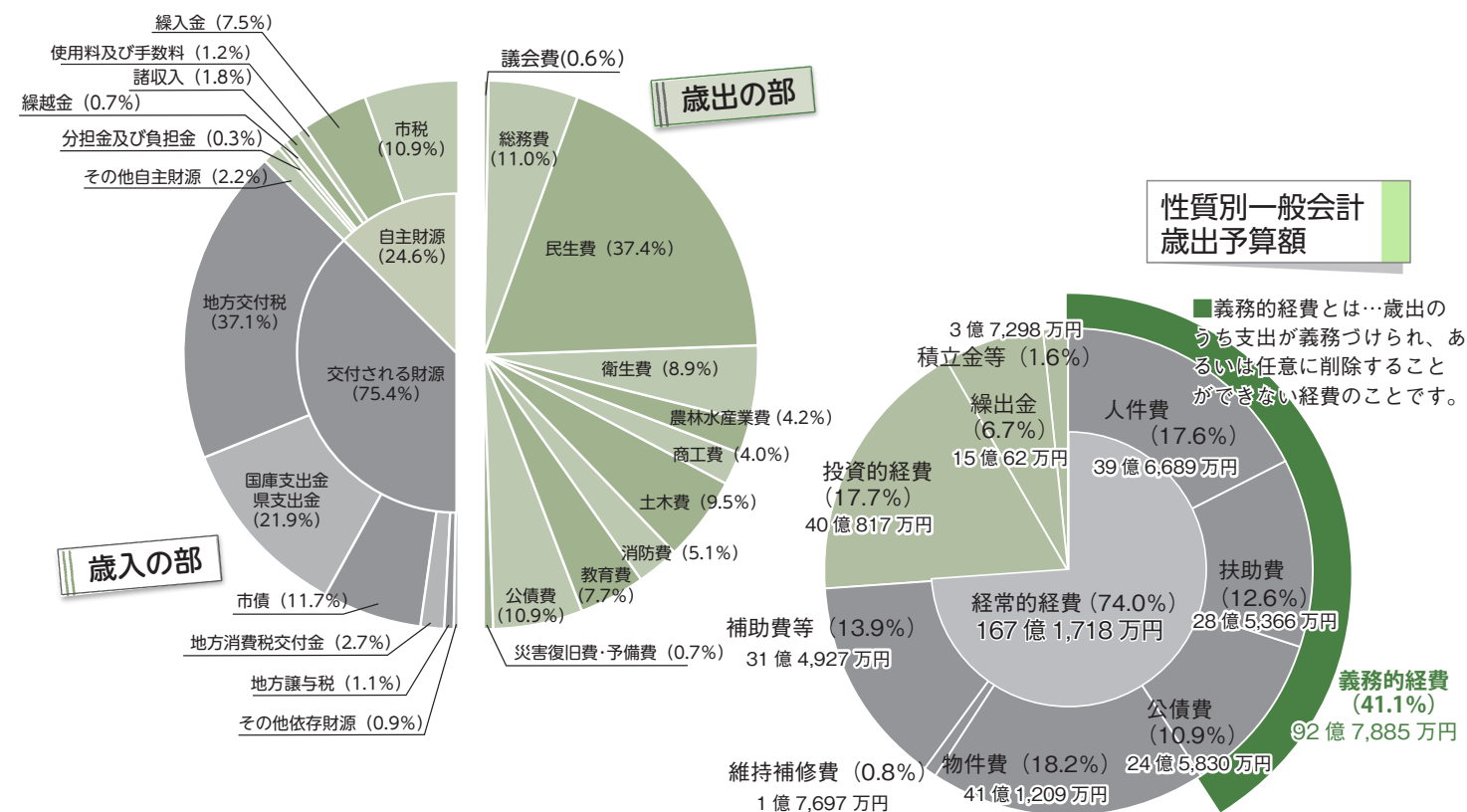
令和 7 年度当初予算は、宇陀市誕生 20 周年を区切りとして、これからの 20 年に向けて、全ての市民が安心・安全に暮らすことができる「自立持続可能性自治体」として、新たな時代を創生していくための「スタートアップ予算」と位置づけています。

市は公民連携を大きな力として課題を解決する「先進モデル都市」に向けて迅速な取り組みと成果をあげるため、令和 7 年度当初予算編成にあたって、宇陀の地域力を最大限に活かしながら、安心・安全な未来へ積極的に投資を進めていきます。

令和 7 年度当初予算における 6 つの柱

- ①健全な行財政の確保
- ②激甚災害への備え
- ③こどもまんなか社会の実現
- ④働く場所の確保など経済の活性化
- ⑤元気人口の増加
- ⑥地域の絆・賑わいづくり

※市議会 3 月定例会において、一般会計予算案を 5,105 万円減額する修正案が可決されました。
詳細については市ホームページをご覧ください。



■予算の概要

一般会計の予算総額は、前年度の本予算額（6 月補正後）との比較で 8 億 9 千万円（4.1%）増の 225 億 9,895 万円の当初予算となりました。

歳入では、地方交付税が最も多く、続いて国・県支出金、市債、市税となっています。総収入の 75.4%にあたる 170 億 7,021 万円は国や県等からの交付される財源であり、自主財源である市税や使用料、負担金、財産収入などは、総収入の 24.6%となっています。

歳出では、民生費が最も多く、次いで総務費、公債費、土木費、衛生費となっています。

企業会計の予算額

支出予算総額 78 億 3,543 万円

◆下水道事業特別会計◆

- 収益的収支
【収入】 7 億 6,898 万円
年間有収水量 1,650 千㎡と見込んでいます。
【支出】 7 億 6,898 万円
普及促進費・維持管理経費・減価償却費等
- 資本的収支
【収入】 4 億 38 万円 国庫補助金 企業債等
【支出】 5 億 7,339 万円 施設整備費 企業債償還金等

◆市立病院事業特別会計◆

- 収益的収支
【収入】 42 億 5,738 万円
年間入院患者数を 52,560 人・外来患者数を 95,832 人と見込んでいます。
【支出】 47 億 4,492 万円
給与費・材料費・経費等
- 資本的収支
【収入】 9 億 2,429 万円 企業債・負担金
【支出】 10 億 8,256 万円 医療機器等購入・企業債の償還

◆介護老人保健施設事業特別会計◆

- 収益的収支
【収入】 5 億 8,190 万円
年間の入所者数（短期入所を含む）35,000 人、通所者数 4,700 人と見込んでいます。
【支出】 5 億 8,190 万円
給与費・材料費・経費・減価償却費等
- 資本的収支
【収入】 7,218 万円
【支出】 8,368 万円 施設整備費・企業債の償還金

◆保養センター事業特別会計◆

昭和 55 年の供用開始以来、公営企業として経営してきましたが、これまでの運営に係る一時借入金の返済が令和 6 年度末で完了することから、令和 6 年度末をもって廃止しました。

◆水道事業特別会計◆

奈良県および県内関係市町村の加盟により、奈良県広域水道企業団が設立され、水道事業および水道用水供給事業の経営に関する事務等を共同で処理するため、令和 6 年度末をもって廃止しました。

※各企業会計において、収入に対する不足がある場合は内部留保資金で補い、収支バランスを図ります。

● 一般会計歳入予算の内訳 ●

- 自主財源 55 億 2,874 万円
市が自ら収納、徴収できる財源
- 交付される財源 170 億 7,021 万円
国・県の基準により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする財源
- 市税 24 億 5,497 万円
市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税
- 地方交付税 83 億 9,000 万円
所得税等、国税の一部から地域にかかわらず、一定の行政サービスを提供できるよう国から配分されるお金
- 国庫支出金・県支出金 49 億 5,716 万円
市が行う特定の事業に対し、国や県が交付するお金
- 市債 26 億 4,190 万円
事業等を行うために資金を外部から借りるお金
- 地方消費税交付金 6 億 800 万円
消費税 10%のうち地方消費税 2.2%分の 1/2 が交付されるお金
- 地方譲与税 2 億 3,958 万円
自動車重量税等を原資に、市道の延長・面積に応じて譲与されるお金
- その他 2 億 3,357 万円
ゴルフ場利用税交付金 自動車取得税交付金 等
- 緑入金 16 億 9,202 万円
基金（貯金）から取り崩すお金
- 使用料及び手数料 2 億 6,659 万円
施設の使用料や住民票の交付手数料等
- 緑越金 1 億 5,000 万円
前年度から繰り越したお金
- 分担金及び負担金 7,420 万円
事業にかかる経費の一部を、その利用者に負担いただくお金 保育料や学校給食費 等
- その他の自主財源 4 億 9,027 万円
財産収入 寄附金
- 諸収入 4 億 69 万円
上記以外の収入 利子 雑入 等

● 一般会計歳出予算の内訳 ●

- 議会費 1 億 3,883 万円
議会運営のために使うお金
- 総務費 24 億 9,541 万円
人事・企画・財政・課税徴収・住民窓口・選挙・統計事業等に使うお金
- 民生費 84 億 4,779 万円
高齢者・障がい者・児童福祉・生活保護等福祉事業に使うお金
- 衛生費 20 億 634 万円
保健衛生・病院・ごみ処理・公害対策等、安全で衛生的な生活のための事業に使うお金
- 農林水産費 9 億 4,204 万円
農林振興・農林道の整備事業等に使うお金
- 商工費 9 億 65 万円
商工・観光事業等に使うお金
- 土木費 21 億 3,862 万円
道路・公園整備・都市計画・住宅管理等の事業に使うお金
- 消防費 11 億 5,379 万円
火災・救急・風水害・地震等に対する事業に使うお金
- 教育費 17 億 4,536 万円
幼稚園・小中学校・生涯学習・スポーツ振興、文化財保護等の事業に使うお金
- 公債費 24 億 5,830 万円
市債（市の借金）を返済するために使うお金
- 災害復旧費・予備費 1 億 7,182 万円
災害によって生じた被害の復旧に使うお金等

特別会計の予算額

会 計 名	令和 7 年度予算額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	240 万円
市営霊苑事業特別会計	740 万円
国民健康保険事業特別会計	38 億 9,110 万円
介護保険事業特別会計	41 億 1,000 万円
後期高齢者医療事業特別会計	7 億 3,630 万円
合 計	87 億 4,720 万円

③ 活力あるまち

■オーガニックビレッジ推進事業 11,508 千円

「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機農業の産地づくりを推進することで、消費拡大、産地形成、農業所得の向上を目指します。



■有害鳥獣対策の推進 15,434 千円

近畿最大規模の宇陀ジビエファクトリーを獣害対策の拠点とし、農林業に対する有害鳥獣被害を防止するため、対策を推進します。

■エストニア企業誘致に係る調査事業（新） 15,629 千円

令和6年1月に締結した連携協定に基づき、エストニア企業の誘致および自律走行配送ロボの運用等に関する実証実験に向けた調査・調整を県事業との連携により推進します。

④ 生涯輝くまち

■市立幼稚園・小中学校給食費無償化事業 79,771 千円



子育てしやすいまちづくりを実現するため、子どもたちの健やかな発育・発達の重要な要素となる「食」を市が全面的に支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

■GIGA端末更新事業（新） 9,334 千円

GIGA スクール構想により令和2年度に整備された1人1台端末が、導入から5年を迎えたため更新します。



■エストニアとの交流による人材育成事業 31,492 千円

■宝くじ文化公演事業（新） 966 千円

宝くじ文化公演事業を活用し、芸術文化鑑賞の機会を市民に提供します。

■「プレミアムハッピー商品券」発行事業 27,000 千円

市独自の物価高騰対策として、消費購買力の市外への流出防止、市内各事業所の売上向上を図ります。なお、今年度は市制20周年記念としてプレミアム率をあげて発行します。

■空き家・空き店舗施設改修等補助金 23,020 千円

市内の空き家・空き店舗等で、新たに事業を行う場合、事業費の一部を補助することで、定住促進や地域経済の活性化を図ります。

■公民連携まちづくり推進事業 4,560 千円

地域資源を活用した新たな経済活動やサービスを創出するため、事業者、団体、教育機関、行政機関等による事業の創出を促すため、「公民連携まちづくりプラットフォーム」の活動を創出し、地域経済の振興を図ります。

■スポーツ振興事業 11,658 千円

市内外から参加者や団体を募り、スポーツ振興のまちづくりを進めます。なお、宇陀シティマラソン開催事業については、市制20周年記念大会として行います。



■中学校部活動地域移行事業 3,661 千円

休日（土曜日・日曜日・祝日）においての中学校部活動に代わる、スポーツ活動および文化活動の機会を確保する体制を整えます。令和7年度は、新たな種目を試行します。



■文化会館改修基本計画策定事業（新） 4,070 千円

当初予算 6つの主要な施策

① 健幸なまち

■保健福祉施設（うだ健幸プラザ）運営事業（新） 10,975 千円

健康福祉部の中央保健センター、医療介護あんしんセンターの機能集約により、職員の連携が強化され、健康づくりや認知症、介護予防、日常生活の困りごとなどの幅広い相談が一度におこなえる相談拠点にします。

■高齢者いきいき生活支援給付金事業（新） 61,517 千円

65歳以上の高齢者に対して、物価高騰対策としてウッピー商品券を一人3,500円配付します。



■高齢者带状疱疹予防接種事業（新） 22,114 千円

令和7年度より定期接種B類に位置付けられたため、带状疱疹の発病および重症化を防止することを目的に予防接種を実施します。

② 暮らしやすいまち

■室生口大野駅周辺地区まちづくり事業（新） 7,000 千円

奈良県とのまちづくり連携協定に基づき、室生口大野駅周辺の検討を行います。また、現在あるおもてなしステーションを室生口大野駅改札前から駅前ロータリー付近へ場所を移動し、観光案内や物販、レンタルサイクル、待合所業務など機能の充実を図ります。

■消防団マイカー保険加入事業（新） 2,688 千円

消防団員に安心して活動してもらうため、火災など災害活動等で使用した消防団員の自家用自動車等に生じた対物・対人の損害を補償します。

■市営住宅等ストック総合改善事業（屋根・外壁工事） 70,152 千円

■効果的な道路新設・改良と補修の実施 393,400 千円

■2025 大阪・関西万博推進事業（新） 4,847 千円

■空き家対策計画改定事業（新） 6,000 千円

■病児保育室整備事業（新） 8,910 千円

保護者が就労している場合において、児童が病気の「回復期に至らない場合」であり、かつ、当面の症状の急変が認められない場合に、当該児童を市立病院内に付設された専用スペースで一時的に保育し、安心して子育てができる環境を整備するとともに児童の福祉の向上を図ります。

■榛原地域就学前施設等整備事業 2,387,783 千円

榛原地域において、保育園と幼稚園の双方のメリットを持つ幼保連携型認定こども園、妊娠期から出産・子育て期を切れ目なく伴走支援することも家庭センターを整備し、就学前教育・保育および子育て支援体制の充実を図ります。

■こども園・保育園給食無償化事業 12,856 千円

子育てしやすいまちづくりを実現するため、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的に、市内のこども園・保育園へ通園する3歳児から5歳児までの給食費を無償化します。

■地域公共交通の確保 231,791 千円

「大宇陀南部地域ボランティア有償バス（かざろひバス）」、「榛原大野線」、「らくらくタクシー」、「デマンド型乗合タクシー」の運行、「路線バスへの運行対策費の負担」など、市民の移動手段を維持・確保します。また、通院や買い物を支援するため、県内で初めてマイカーを使った公共ライドシェアの実証運行など利用者の利便性向上並びに空白地解消に向け取り組みます。



■道路橋梁メンテナンス事業 180,200 千円

■下水道施設点検及び更新事業 197,000 千円

■消防車両購入事業（新） 31,358 千円

■奈良県広域消防組合負担金事業 896,782 千円

小学校

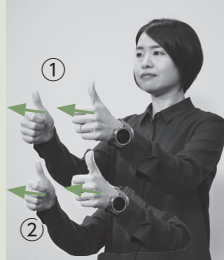


左手人差し指を立てて、右手の人差し指と中指で左手の人差し指を挟み【小】



両手を開いて手のひらは手前に出し、斜めに立てて並べる【学校】

国語



立てた両手親指を上下の位置でピンを押すように少し前へ出す

新しい環境にもそろそろ慣れてきたころでしょうか。今回は小学校で習う教科の手話を覚えましょう。算数は3+3のイメージ、理科は試験管で注ぐしぐさです。



第58回

算数



甲を前に向けて立てた両手3指をつけ合わせる

社会



立てた両手2指の小指をつけ、半円を描いて引き寄せ、親指をつける

理科



左手5指の輪に右手5指の輪で「注ぐ」しぐさをし、



右手5指の輪に左手5指の輪で「注ぐ」しぐさをする

⑤ 自然豊かなまち

■カーボンニュートラル推進事業 22,246 千円

令和6年3月に宇陀市地球温暖化対策実行計画を策定し、市内の温室効果ガスの削減に取り組みます。



■天然記念物保護・再生事業 9,075 千円

■榛原・大宇陀斎場修繕事業 112,535 千円

利用者が安心して利用できるよう、適切な斎場の施設管理を続けていくために長寿命化の維持修繕等を行います。

■合併処理浄化槽整備促進事業 10,319 千円

■宇陀クリーンセンター設備更新事業 126,324 千円

■公園施設長寿命化事業 13,255 千円

■平成榛原こどものもり公園民間活力活用事業 17,313 千円

パートナー事業者公募により選定された民間事業者とともに、公園の魅力向上による来園者数の増加を図り、健全で効率的な公園運営を行います。



⑥ 地域力を発揮するまち

■合併20周年記念事業(新) 22,500 千円

市制20周年を迎えるにあたり、宇陀市のこれまでのあゆみを振り返るとともに、未来への発展を誓う機会とするため、多くの市民が参加できる記念事業を行います。

■第2次総合計画後期基本計画策定事業(新) 15,230 千円

「第2次宇陀市総合計画」の中期基本計画(4年)が令和7年度で終了するため、令和8年度以降の4年間を対象とした「後期基本計画」を策定します。併せて、中期基本計画の検証も行います。

■公共施設マネジメント推進事業 13,490 千円

■ふるさと応援寄附金事業 175,228 千円

■マイナンバーカード普及事業 22,862 千円

■国民健康保険事業の推進 847,315 千円

■奈良県広域水道企業団繰出金(新) 304,641 千円

令和6年11月1日に奈良県広域水道企業団が設立したことにより、令和7年度からは上水道事業(奈良県広域水道企業団)に対して繰出を行います。

■宇陀市連合自治会支援事業 16,039 千円

自主的な住民意識の確立および自治意識の向上を図るため、連合自治会の健全な育成と円滑な運営を支援します。

■まちづくり協議会支援事業 30,331 千円

地域コミュニティの充実・強化を図り、地域が主体となって身近な課題に取り組むまちづくり協議会の活動を支援します。

■まちづくり活動応援補助金交付事業 6,189 千円

市内で活動する団体が行う新たな取り組みに対し補助金を交付し、市民による主体的かつ地域の個性を活かしたまちづくりを推進します。また、令和8年6月までの事業を対象にした市制20周年枠を設けています。



さんとぴあ榛原からの
お知らせ

～着任挨拶～

施設長・事業管理者 松島俊裕

します。

施設長かつ事業管理者として任務を与えられました。重責に身が引き締まる思いです。前任者の業績をさらに発展させ、がんばらせていただきます。よろしくお願いいたします。

